

将来を担う子どもたちのために

保育園の待機児 解消のために



働きながら安心して子育てができるよう、通勤の便利な駅直近の高架下を活用して保育施設の整備を進めます。若い世代の多い大規模集合住宅には保育施設の併設を働きかけます。



保育園の定員の拡大や、時間延長、病児保育の拡充を図り、学童保育所の時間延長を進める必要があります。

児童館



しての児童館を充実し、中高生の活動支援として、地域に住む

方々の持っている能力や活動場所との接点を探り、地域が子どもたちの育成を支援する仕組みづくりをした



地域の子どもたちが安全に遊び、集う施設と

学校



小金井の子どもたちはよく学び、様々な活動にも熱

心に取り組むことは多くの市民が知るところとなりました。成績もよく、部活での活躍も評価されており、ボランティアにも取り組んでいます。さらに、地域の住民との連携を強くし、顔が見える関係を作るためにも防災訓練を近くの住民と一緒に行うなど、地域との接点を多くするような取り組みを進めます。

不登校や引きこもり、いじめなど子どもたちを取り巻く課題もあります。地域住民も関心を持って、見守ることも大事です。

近年、発達障害への対策が課題となっています。発達支援センターの開設を推進すると共に、きめ細かい対応を求めていきます。

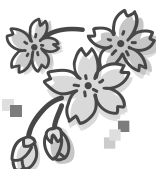
子育て相談



核家族が増えて久しく、子育てに悩む親は依然として多く存在します。近年問



住み続けたい小金井



行財政改革で 行政の無駄を監視し、 市民のための市役所を



厳しい時代が進みます。税収増はなかなか見込めず、福祉サービスは逆に増え続けます。無駄をなくすと共に、行政と市民との協働を進める部署を増やし、市民の力を市政に生かしていきます。そのためには、市民と職員が同じ目的意識を持つことが大事です。研修を充実し、機能的な市役所づくりを進めましょう。

題となつていいる虐待などへの相談窓口を充実する必要があります。子どもは親の鏡とも言います。親が持っている悩みの解消も大事です。親が学べる場づくりや親同士が触れ合える場作りを進めます。

小金井で元気に！ 小金井を元気に！

五十嵐京子

通信
第33号

2013年2月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町3-8-9-312

電話 042-384-9920